

(科目名) 京都の文化を支える森林：森林の持続的管理に関する地域の知恵と生態学的知見からの検証			(群)	拡大科目群
			(系)	少人数教育科目
			(開講期)	前期
			(授業形態)	ポケゼミ(実習)
(所属部局)	(職名)	(氏名)	(対象回生)	全回生
フィールドセンター	教授	徳地 直子	(対象学生)	全学生
フィールドセンター	教授	吉岡 崇仁		
(授業の概要・目的)				
京都文化を支える自然の利用方法や森林に対する人々の知恵を知り、生態学的手法を用いて評価検討し、将来の京都と森林自然の新しい関係を導きだすことを目的とする。				
(授業計画と内容)				
大学で森林と人間の関わりに関する歴史的知見ならびに森林生態系に関する生態学的情報について講義する。その後、上賀茂試験地・芦生研究林において、森林がどのように管理され、人々がどのように森林を扱ってきたかを現地調査ならびに聞き取りで調査する。実習では、現在全国的にも森林生態系を大きく変化させているシカの影響について、京都市南丹振興局と協働で芦生研究林においてシカ被害防除に関する実習も行う。				
(成績評価の方法・基準)				
発表ならびにレポート				
(履修要件)				
(教科書)				
(参考書)				
森里海連環学 山下洋監修 京都大学学術出版会				